

四年生 国語 学習プリント

三年 組 名前



白いぼうし あまん きみこ作 ころろ 美保子 絵

教科書 p16

○人物の様子を表す言葉に気をつけて、音読しましょう。

○それぞれの場面に書かれていること、つながりを見つけてみましょう。

○声に出して三回読みましょう。

○この物語は、一行空きによって場面が四つに分かれています。表に書かれているページ数を見て、確認しましょう。

場面	ページ
一場面	上 P 16 ・ 1 行目 ～ 上 P 17 ・ 11 行目
二場面	上 P 18 ・ 1 行目 ～ 上 P 20 ・ 6 行目
三場面	上 P 20 ・ 8 行目 ～ 上 P 22 ・ 5 行目
四場面	上 P 22 ・ 7 行目 ～ 上 P 24 ・ 12 行目

○この物語には、だれが登場するでしょう。教科書をよく読んで、場面の登場人物を書き出してみましょう。

場面	登場人物
一場面	
二場面	
三場面	
四場面	

○ 松井さんに、どんな出来事が起こったかを、登場人物の様子を表す言葉に着目して、場面ごとに整理しました。に当てはまる言葉を教科書からさがして、表のの中に書きましよう。

松井さんに起きた出来事

	<p>お母さんが、もぎたての夏みかんを速達で送ってくれました。「あまり<input type="text"/>ので、<input type="text"/>のを、この車にのせてきたのですよ。」と、お客さんに話しました。</p>
一場面	<p>お母さんが、もぎたての夏みかんを速達で送ってくれました。「あまり<input type="text"/>ので、<input type="text"/>のを、この車にのせてきたのですよ。」と、お客さんに話しました。</p>
二場面	<p>松井さんが、白いぼうしをとたん、ふわっともんしろちようが飛び出しました。松井さんは、ぼうしをつかんで<input type="text"/>をつきました。松井さんは、にがしてしまったかわりに、夏みかんと、<input type="text"/>と、飛ばないように、石でつばをおさえました。</p>
三場面	<p>車にもどると、女の子が<input type="text"/>後ろのシートにすわっていました。男の子が、新しい虫とりあみをかかえて近づいてくると、女の子が後ろから<input type="text"/>、「早く行ってちようだい。」というので、<input type="text"/>アクセルをふみました。</p>
四場面	<p>松井さんは、「あの子がぼうしを<input type="text"/>開けたときおどろいただろうな。」「ふふふつ。」とわらいが<input type="text"/>。ふり返ると、車の中にはだれもいませんでした。外を見ると、白いちようが、<input type="text"/>、もっとたくさん飛んでいました。</p>

○ 花子さんは、「白いぼうし」を読んで、「ふしぎだなあ」「考えてみた
いなあ」と思ったことを次のように書き出してみました。

- ① 女の子はどうして「早く行ってちょうだい。」と言ったのだろう。
- ② 女の子はなぜ消えてしまったのだろう。
- ③ 松井さんに聞こえた「よかったね。「よかったよ。」という声はだ
れの声なのだろう。
- ④ どうして松井さんにその声が聞こえたのだろう。

○ 花子さんの「ふしぎだなあ」「考えてみたいなあ」と思ったことにつ
いて、あなたもいっしょに考えてみましょう。①～⑤の中から選んで、
自分の考えを花子さんに話すように書いてみましょう。

えらんだ番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

👉 物語のどの場面の、どんな言葉からそう考えたのかを書くど、
場面や言葉と自分の考えのつながりが分かりやすくなります。
また、場面と場面、言葉と言葉をつないで考えるとよいです。

○ 次の(1)～(6)の文の——部のひらがなを漢字に直して、ていねいに書きましょう。

(1) しんごうが赤にかわる。

(1)

(2) そくたつで送る。

(2)

(3) 何かが とびだす。

(3)

(4) うんてんせき。

(4)

(5) 四角い たてもの。

(5)

(6) なのはながさいている。

(6)

👉 「白いぼうし」(上 p 29)でたしかめましょう。

この物語は「車のいろは空のいろ」シリーズの中にあるお話です。このシリーズには、「松井さん」が登場します。
上 p 28・29に、本のしよいかいがあります。
同じ人物が出てくるシリーズの本を、ぜひ読んでみてくださいね。



○ 「学校が始まったら先生に聞きたいこと」「分からなかったこと・心配なこと」を書きましょう。